

お知らせ

INFORMATION

No.2022-14

2022年5月

病体生理研究所

検査内容変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当研究所をご利用頂きまして誠に有り難うございます。
この度、下記検査項目におきまして、検査内容を変更いたします。
何卒ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【変更項目】

- ◆ LD [30008] …検査案内 P.2 検査実施先 B
- ◆ ACTH (副腎皮質刺激ホルモン) [10264] …検査案内 P.35 検査実施先 S
- ◆ HIV 抗原・抗体 (スクリーニング) [14997] …検査案内 P.63 検査実施先 B
- ◆ HBV DNA 定量/単位 [31001] …検査案内 P.64 検査実施先 B
- ◆ LST [11634] [11635] [11636] …検査案内 P.89 検査実施先 S
- ◆ EGFR 遺伝子変異解析コバス v2 [16806] …2021 検査案内未掲載 検査実施先 M

※詳細裏面参照

《実施日》2022年5月16日(月)より実施

【変更内容】

検査項目 〔コード〕 検査案内掲載頁 検査実施施設	変更箇所	新	従来	備考
LD (IFCC) (LDH) 〔30008〕 P.2 B	保存 (安定性)	冷蔵 (3日)	冷蔵 (14日)	保存安定性見直しの為(経時的低値傾向)。
ACTH (副腎皮質刺激ホルモン) 〔10264〕 P.35 P.118 S	備考欄	注②早朝空腹、安静時に採血し、速やかに血漿分離してください。	注②日内リズムがある為早朝空腹時、安静臥位にて採血してください。	添付文書に沿った、検体処理方法へ文言変更。
	検体取扱い方法	早朝空腹、安静時に採血し、速やかによく混和させ血漿分離し、血漿を絶凍用試験管に移し、凍結してください。	日内リズムがある為、早朝空腹時、安静臥位にて採血してください。血漿分離し血漿を絶凍試験管に移し、凍結してください。	
HIV 抗原・抗体 (スクリーニング) 〔14997〕 P.63 B	実施料	127点 D012 19 HIV-1,2 抗体定量	112点 D012 16 HIV-1,2 抗体定性	S/CO 値を付記しているため、定量へ変更致します。
HBV DNA 定量/単位 〔31001〕 P.64 B	名称	HBV DNA 定量	HBV DNA 定量 /単位	名称の“/単位”を削除。 検査内容に変更はありません。
LST 〔11634〕〔11635〕〔11636〕 P.89 S	備考欄 欄外	注①、3.ヘパリンが起因薬剤と疑われる場合は、すべての採血管にNK細胞活性用容器をご使用ください。 容器については別途ご注文下さい。	注①、3.ヘパリンが起因薬剤と疑われる場合は、NK細胞活性用容器をご使用ください。	検体取扱いについて、より分かりやすい表現への変更。
EGFR 遺伝子変異 解析コバス v 2 〔16806〕 お知らせNo2022-09 参照 M	検査材料	未染スライド 5枚 (5μm厚)	未染スライド 4~5枚 または パラフィン切片 4~5枚	検査対象材料からパラフィン切片を削除いたします。 その他、検査内容の変更はありません。

以上